

コリゾン Technical Data Sheet (TDS)

CORRIZON

製品の特徴

- ・環境にも人体にも優しい金属保護コート
- ・VOC準拠
- ・古い金属にも使える高性能メンテナンス
- ・速乾
- ・幅広い温度環境で作用
- ・様々なトップコートに対応
- ・湿った金属面にも使用可能
- ・錆が付着したままでも使用可能
- ・非常に薄い塗膜で効果を発揮
- ・49℃までの環境で塗布可能

主な用途

- ・鉄やアルミニウム・工業施設などのコンクリート建造物、水道施設、橋、タンクやパイプ、船舶や車、海風や陸風が吹く場所など、あらゆる場面で使用可能
- ・真水や海水の飛沫や漏れ、侵食等への化学的な抵抗力により、屋内外で使用可能

物証データ

色	オフホワイト
塗布後	作用後、黒
成分	単一
固形分率	52%±2%
VOC(EPA8260)	0.06g/l ~ 0 lb./gal
質量密度	1.2 ~ 1.3gr/cc

推奨膜厚

乾燥前	1.2 ~ 2mils / 30~50microns
乾燥後	0.75 ~ 1.25mils / 20~30microns
膜厚1mil/25micronsで塗布した際の推定可能塗布範囲	
	830 ~ 1000sqft / gal 20 ~ 22m ² /l

注: ブラシやロールなどを使って塗布する場合、表面を均一にしたり、推奨最大厚まで到達するのに何度も塗り重ねる必要があります。

乾燥時間

	10℃	25℃	38℃	49℃
指触	1時間	30分	15分	10分
トップコート	いずれも24時間			
作用	いずれも 7日			

使用期限

12カ月 (4 ~ 40℃で保管)

コリゾン 塗布説明書

表面処理

【洗浄】

表面の処理によって効果が変わりますので、適切にしっかりと行ってください。
SSPC *-SP-1 に従って

- ・脱脂：グリースやオイルを取り除く
- ・高圧水洗浄：剥がれかかった塗装、ミルスケール、浮き錆、土、ほこりを取り除く
- ・ワイヤーブラシ：金属自体が脆く、高圧洗浄で表面が欠ける恐れのある場合、高圧洗浄のみで困難な場合は、ワイヤーブラシ等で取り除く

*SSPC : Steel Structures Painting Council : Surface Preparation Specification

鉄 : SSPC-SP-WJ-4/NACE WJ4

水性洗浄剤または乳液状のクリーナーで油分、石鹼膜を取り除く

< 参照 >

高圧水洗浄 : SSPC-SP-WJ-4(L)/NACE WJ-2(L) 7500psiを超える場合

パワーツールを用いた洗浄 : ISO-St3(SSPC-SP-3)

ハンドツールを用いた洗浄 : ISO-St2(SSPC-SP-2)

研磨剤の吹き付け : ISO-Sa2.5

亜鉛メッキ鋼 / アルミニウム : SSPC-SP-16

水性洗浄剤または乳液状のクリーナーで油分、石鹼膜を取り除く

SSPC-SP-16に従って、粒子の細かい研磨剤を使用し、軽く吹き付けを行う。

【形状】

塗布面の割れや溶接継ぎ目、尖った角など取り除き、表面を均一にしてください。

- ※ これらの箇所から早期に不具合が生じることがあります。
- ※ 過度に削り落とすと膜形成や外観、接着に悪影響が生じることがあります。

塗布環境 適用条件

温度 : 最低 4.5 °C ~ 最高 49 °C迄 露点は関係ありません。

湿度 : 最大 85 %

※ 乾燥後は300°Cまでの温度に耐えることができます。

塗布用器具

希釈は水が推奨です。下記以外、同等の器具でも使用可能です。

エアレススプレー

水 圧 2500 -3000 psi

ホース 3/8" ID

ノズル口径 0.013" - 0.017"

フィルタ 60 メッシュ

希 釈 体積の 5% まで (必要時)

スプレー

ガ ン Binks 95 / Devilbiss

液ノズル 66 SS

ノズル口径 0.07" (1.8 mm)

噴霧圧 40 - 60 psi

液 圧 20 - 30 psi

希 釈 体積の 5% まで (必要時)

ブラシ

ブラシ 豚毛 (ナチュラルプリストル)

希 釈 推奨しない

ローラー

カバー 1/4" 織布

希 釈 推奨しない

【風速】

11 - 16 knots / 20- 28 jm/h を超える場合は、ブラシ、またはローラーのみを使用してください。

【エアレススプレー/スプレー】

- ・ 圧力やノズルサイズを調節できることを推奨します。
- ・ 噴霧器のつまりを防ぐため、使用前に水のみでパーシ噴霧を行ってください。
- ・ 噴霧ガンの各塗布部分が重ならないように、塗り残しやピンホール等に注意し、必要に応じて直角にクロス噴霧してください。

【ローラー】

- ・ローラー跡がつかないように、常にウェットエッジを維持してください。
- ・カットイン部分に近くローラーを転がし、塗布漏れがないようにしてください。
- ・塗布は必ずローラートレイから行き、コリゾン直接表面にこぼさないようにしてください。

攪拌

使用前に、コリゾンが完全に均一になるまで低速で強力攪拌します（最大速度：500 rpm）。

塗布

- ・塗布前に表面に溜り水がないことを確認してください。
- ・推奨膜厚までの薄層でコリゾン塗布。
- ・塗布する場所、表面の形状に応じて器具を使い分けてください。
- ・層間識別のために顔料を入れることが可能です。

【厚く塗らないようご注意ください】

- ・厚く塗っても効果は上がりません。薄層で効果を発揮します。
- ・厚く塗りすぎると、コリゾンの残留物が金属表面に残る場合があります。
気になる場合は、加圧せずに、水できれいに洗い流すか、水拭きして取り除いてください。

トップコート

コリゾンは金属そのものに作用するため、トップコートが必須ではありません。
外部環境からコリゾンの浸透した金属基板自体を保護する、または外観の美しさ等、必要に応じてトップコートをご利用ください。

- ・コリゾンの乾燥が完了したら、加圧せずきれいな水で表面をよくすすいでください。
- ・完全に乾燥してからトップコート塗料を塗ってください。
- ・推奨塗料
屋外：ポリエステル、またはアクリル変性ウレタン樹脂系
屋内：無溶剤型エポキシ樹脂塗料

※トップコートは錆止め塗料である必要はありません。

クリーニング

使用後の器具は水で速やかに洗ってください。
こぼれた場合も水で拭き取ってください。

ご注意

- ・塗布前やテスト、ラボ試験には、10 x 15 cm²の大きさに最低3回の塗布を推奨します。
- ・ご使用前に必ずSDS（安全データシート）をご確認ください。
- ・雨や湿気が強い場合、塗布部分が白く見えることがありますが、効果に影響はありません。
- ・金属表面の処理が不十分な場合、塗布膜が厚い場合に、トップコート上に黒い染みがでてくる場合があります。錆とコリゾン有効成分が反応しておこる現象ですので、水洗いするか、水拭きしてください。
- ・仕様について、予告なく変更される場合があります。
詳細は株式会社ケーアイエヌにお問合せください。

保証

コリゾン製造メーカー、Green-ICPSは、品質管理手順に従い製造を行っております。
不良と証明された製品についてはGreen-ICPSが定めた不良製品の交換手順に従い対応します。

これ以外のいかなる種類の保証については、明示、暗示、法令上の内容、法その他の施行によるものを問わず、特定の目的についての市場性や適切性を含み、対応致しかねます。

免責事項

コリゾンデータシート内の情報、および推奨内容は、Green-ICPSにより、または代わって実施された試験に基づいております。これらは更新の可能性があり、公表時点での内容であるため、最新の製品データ情報、塗布説明等につきましては、ケーアイエヌにお問合せください。

コリゾン Safety Data Sheet (SDS) 安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 製品名称: コリゾンベース

製品番号(SDS NO): CORRIZON_Base-1

推奨用途及び使用上の制限 推奨用途: 一液型 さび止め・金属保護コート剤

供給者情報詳細 供給者: 株式会社ケーアイエヌ

住所: 京都市下京区聖真子町169-1

電話番号: 075-468-8494

FAX: 075-320-1305

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素 GHS分類: GHS分類区分に該当せず

GHSラベル要素: 絵表示なし、注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
鋳油(高精製品)	非開示	<10	非開示

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

記載なき成分は日本公表危険物質リスト (NITE 平成27年度)に該当しません。

危険有害成分 安衛法「表示すべき有害物」該当成分: 鋳油

安衛法「通知すべき有害物」該当成分: 鋳油

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：多量の水と石鹼で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 適切な消火剤：霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

不適切な消火剤：噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性 燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法：関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護：防火服/防災服/耐火服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

環境に対する注意事項 下水、排水中に流してはならない。

回収・処理方法 不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策 漏出物を回収すること。
汚染箇所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 注意事項 皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

上限保存温度 :40℃

下限保存温度 :5℃

容器包装材料：他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標 管理濃度データなし

許容濃度 (鉍油) 日本産衛学会(1977) 3mg/m³ (鉍油ミストとして)

(鉍油) ACGIH(2009) TWA: 可能な限り低く(L) (上気道刺激)

ばく露防止 設備対策：洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具：換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具： 保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具： 側面シールド付き安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具： 保護衣を着用する。

衛生対策 眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态 形状： 液体

色： 乳白色

臭い： わずかなアクリル臭

pH： 3 - 5

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点： 0℃

引火点： 適用外

比重/密度： 1.3g/cm³

動粘度： 400 - 1000mm²/s

水に対する溶解度： 溶ける

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

混触危険物質 強酸、強酸化性物質

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報 急性毒性データなし

局所効果データなし

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性 (鉍油(高精製品)) IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性について分類できない

(鉍油(高精製品)) ACGIH-A4(2009): ヒト発がん性について分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性（単回/反復ばく露）データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 水生毒性データなし
残留性・分解性データなし
生体蓄積性データなし
土壌中の移動性データなし
オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 国連番号に該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法 有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物: 鉱油(別表第9の168)

名称通知危険/有害物: 鉱油(別表第9の168)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

水質汚濁防止法

1日当たり平均的排水量50m³以上の特定事業場に適用される排水基準生活環境項目

鉛油 ノルマルヘキサン抽出物質含有量: C 5mg-鉛油類/liter

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2016 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。使用状態または使用方法が弊社の基準外である場合には、この製品の使用に関しての一切の責任を負いません。記載内容は現時点で入手できる情報において正確に作成されていると思われませんが、その情報の正確さ、資材の使用に関わる危険、その使用から得られる結果の保証をなすものではありません。適用される都道府県や地方自治体、地方条例の遵守は使用者の責任によることとなります。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は日本公表データ (NITE 平成27年度)です。